

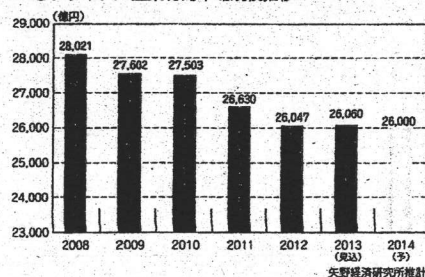
現代の結婚式事情

～理想の結婚って?～

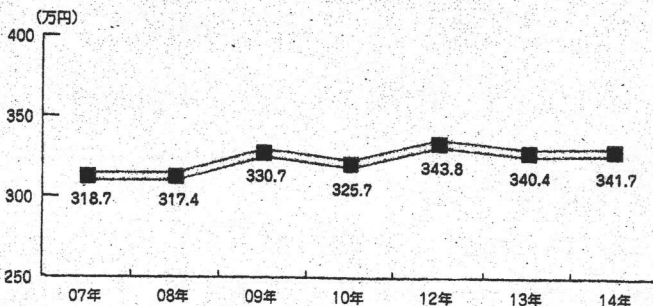
～中間発表の内容～

- ・ウェディング業界の現状
結婚件数は減少傾向、市場規模は横ばい
- ・ウェディングプランナーの仕事内容
営業→プランニング→式当日
- ・結婚式の種類
キリスト教式、神前式、仏前式、人前式
- ・挙式した式場
利便性の良さからホテル・一般の結婚式場が人気

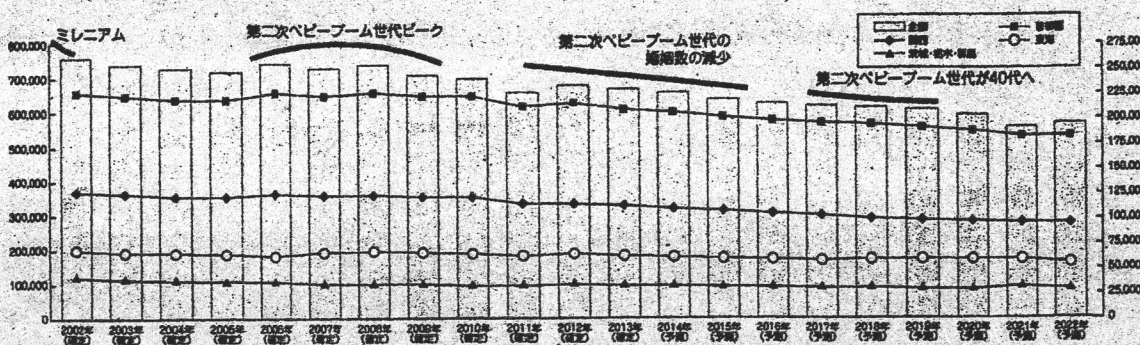
●ブライダル産業有力市場規模推移



●挙式、披露宴・披露パーティー総額の推移(首都圏)



●全国の婚姻組数予測～2022年まで



●平均初婚年齢の年次推移

年	夫(歳)	妻(歳)
98	28.6	26.7
03	29.4	27.6
09	30.4	28.6
10	30.5	28.8
11	30.7	29.0
12	30.8	29.2
13	30.9	29.3

注:各届出年に結婚生活に入ったもの 厚生労働省調べ

結婚したカップルのうち式、披露宴を挙げたのは約半分
式を挙げなかった人の離婚率:約80%

挙げる人と 挙げない人
お金をかける人と 節約する人



結婚式の二極化

サイト上 中間発表 ウェディングプランナーという仕事
→ 本発表 理想の結婚って?

定義

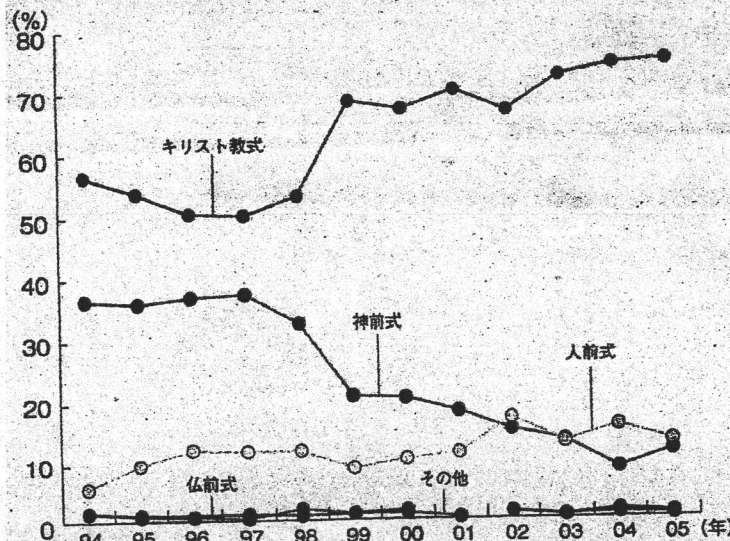
紙一枚を提出すれば結婚をすることはできる。
最近では結婚式が二極化している中、あえて
お金を出して結婚式・披露宴をやる意味とは?

プランナーさん
の
思い

その人たちだけの
結婚式が
生まれるのでは?

お客様の
思い

●首都圏における実施した挙式形式



1900年大正天皇御成婚
神前式がブームに
1965年戦後キリスト教式
が注目され始める
1980年代ごろ
神前式ブーム終わり
キリスト教式に
うつり始める
今現在7割の人が
キリスト教式で
式を挙げる

出所:結婚情報誌「ゼクシィ」(リクルート発行)調べ

～南浦勇弥さん・こころさん夫妻～

- ※2年前にホテル阪神にて式・披露宴を行った。式は神前式。
- ※「自分たちが“出会えて結婚することが”できるのは今まで自分たちを支えてくれた両親、友人たちのおかげ。その人たちに感謝の気持ちを伝えたい。」

↓
2人のコンセプトは『感謝』
自分たちが主役。だけど「おもてなし」「参加型」を意識

- ※ホテル→交通が便利。式の後、そのまま泊まてもらう
神前式→お式は近い人々のみで厳かにしたい(大阪天満宮)

- ※「おもてなし」作り
 - ・席札裏に1人ずつ手書きでメッセージ
 - ・BGMはみんなによく知られている曲を使用
 - ・料理にはお金をかけて
 - ・引き出物も年齢の層により中身を変える
 - ・サプライズプレゼントを用意

ect...

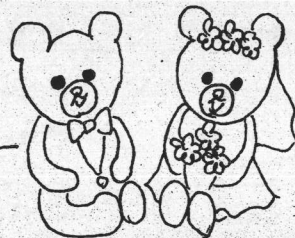
パワポ参照...

- ※式を挙げるにあたり、失礼のないようにするための知識やノウハウを全て教えてくれたのはプランナーさん

お二人にとって結婚式とは...

・新たな決意

・感謝を伝える日



ホテル日航大阪

～セール&マ-ケティング部 澤田 尚子さん～

- ※プランナー歴9年 大学生時代にホテル日航大阪のパーティー会場の食事の配膳のアリバイトをしていた経験を活かして活躍するベテランのプランナーさん

- ※ウェディングプランナーの仕事について

・ウェディングプランナーという言葉が出て来はじめたのは14.5年前
(このころにゲストハウスもできた)

・ほぼ中間発表のレジメ通り

営業→足を運んでいただき、自分の式場を選んでいただくため希望を叶えられるプランを提案

プランニング→ホテル日航大阪の場合打ち合わせは4回

半年前から準備、打ち合わせは3-4ヶ月前から

・平日は手配などのデスクワーク中心

・電話で対応するときの口調が大切。少しのミスでもない疲れ、しまう。

・女性が多い職業。ホテル日航大阪の場合プランナー18名の中、男性は3名。

・秋口が一番忙しく、11月だけで50組ほど。年間で約230組。

・プランナーで一番大切なことは 経験。

- ※現状について

・式の様子は9割がチャペル(キリスト教式)。最近人前式が増えてきた。

予算は350万円ほど、規模は60名ほど。大阪は値段にシビア。

披露宴での新婦のお色直しのドレスカラーはピンクが1番多い。

(ウェディングドレスを着たあと、違うデザインの白をもう1着着る人も)

・年々、式を挙げる人が減っているのは事実だけれど、その分(組)組の

二たわりが強くなっている ← **二極化**

※ 澤田さんの体験談

嬉しい事→担当してもらえてよかったと言ってもらえたこと
 大変な事→ミスができない、やり直しがきかない、完璧にしないといけない
 印象に残っている式→京セラドームで挙式

海外式を取り入れた人前式(バーミロードを新郎・新婦
 の友人、数人を含めダンスをしながら入場)

- ・お客様や親戚の間でもめるとき、アドバイスはできるだけ、
 あまり介入するべきではない
- ・同姓愛者についてまだ式を担当したことはないけれど、受け入れ態勢は整えてある
- ・宗教関係についてはまだあまり細かなことはないけれど、そのつと勉強していく。
 新婦が韓国人でお色直しは4マチョゴリということはある

※ プランナーとして...

- ・気をつけていること
- ・お金がわわっている。しかも形に残らない時間と空間に対してのもの。
 夢の裏にはお金があるからきちんとご案内する。自分たちは何回も
 プラニングしているも、お客様にとっては一度きりだからなかなかにしないように。
 ・大切にしていること
- 一生に1回、1つとして同じものはない

プランナーさんにとって結婚式とは... ・感謝の気持ちを表す日

意味が大きいのは両親
 規模が小さくてもクジメとしていた方がいっしょに思う
 やって良かったって皆様おっしゃる
 (特に最初のリゲじやなかった新郎が、や、良かったとおっしゃる)

結論 感謝の気持ちを伝えるため

一生に一度だから自分大切な人たちに感謝を伝える
 ケジメのため、大人として自分たちは結婚しました。これから2人で
 支え合っていきます。という意思表示

～おまけ～

※ 婚約指輪は給料の3ヶ月分

1960年代、日本にダイヤモンドが輸入され、ダイヤモンド会社が日本にダイヤモンドの
 婚約指輪を普及せようとした。そのとき婚約指輪の価格の目安がなく、
 「いくらものを買えばいい?」という質問が相次いだからだとされている。
 また、どうしてダイヤモンドかというと、ダイヤモンドは古くから不思議な力があると
 信じられてきた。世の中で最も強い天然鉱物で無色透明、美しく光輝くダイヤモンドは
 その性質ゆえに生涯変わらぬ永遠の愛や汚れなき純真無垢の心を象徴する
 ものとされ、愛の証である婚約指輪にふさわしいとされてきた。

※ ジューンブライド

日本で6月は梅雨...結婚式が行いにくい日、月、ブライダル会社が式を挙げて
 もらおうと「6月に結婚した花嫁は幸せになる」というキャッチフレーズを作った。
 →しかし!! 本当の意味は違う!!

- ① 6月(June)はローマ神話のユノーからきている
 ユノーは女性の結婚生活を守護する女神、主に結婚・出産を司る
- ② 3～5月は結婚できない
 昔のヨーロッパは3～5月が農作業が1年の中で一番忙しい時期だから
 結婚禁止 → 6月に結婚ラッシュがくる
- ③ 天気が良い
 ヨーロッパでは6月が一番天気のいい日だから

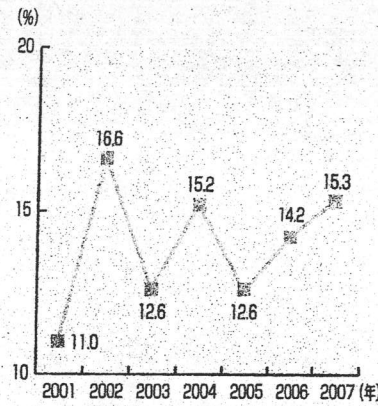
このヨーロッパでのジューンブライドを利用してブライダル会社おは何か
 6月に式を挙げてもらおうとした...と思われる

※ 人前式

今現在、人気を集める人前式。特定の宗教にこだわらないので、無宗教の国と呼ばれる日本では人気が高まっています。

ヨーロッパでは民事結婚式(シビルウェディング)といい、再婚だから教会で式が挙げられない、両家の宗教が違うといった理由でこのスタイルで挙式を行う人も多々いる。

人前挙式の実施状況



(リクルート「結婚トレンド調査2007・首都圏」より)

※ さまざまシックス (欧米由来の演出)

- ・ フラワーシャワー 花びらには清めの意味がある
- ・ ブーケトス 花嫁の投げたブーケを受け取った人は次の花嫁になる
- ・ ガートス 花婿が花嫁のガーターを取り投げる。受け取った人は次の花婿になる
- ・ ラッキー6ペンス 花嫁の左靴の中にも6ペンスコインを入けると幸せになる
- ・ サムシングフォー 何か古いもの、何か新しいもの、何か借りたもの、何か青いもの
この4つを身につけて結婚した花嫁は幸せになる
- ・ 「花嫁を守るように花婿の右手は自由にしておく」という昔の習わしから、祭壇に向かい、花嫁が花婿の左側に立つことになっている

※ 資格について

資格はあるが「国家資格ではないため絶対に取得しなければならない」ということはない。現役プランナーでも資格を持っていない人も多く、就職の際も資格を持っていることを採用の条件にしているところはない。

知識の習熟度を見るひとつの目安として取得する。また資格取得のために勉強していることは、それだけ真実にウェディングプランナーを目指しているという目に見えるアピールにもつながる。資格があればブライダルの基礎知識があるという証明にもなる。

BIA=社団法人日本ブライダル事業振興会

取得できる資格

- 「IBC(Introduction to the Bridal Coordinator) 認定」
- IBC検定, ABC検定, BIAブライダルコーディネーター検定
- 「ABC (Assistant Bridal Coordinator) 協会認定」
- アシスタント・ブライダルプランナー、プロフェッショナル・ブライダルコンサルタント

～まとめ～

私は結婚式に参加したことがなく、まったく無知の状態からスタートしました。たくさん資料を読んで、いろんな人にお話を聞いて結婚式についてかなり知識が深くなりました。プランナーさんにお話を伺うときは「よく知ってますね。」と言われるほど。その中で私が印象的だったのは「自分にとって自分の大切な人と一緒に会えるのは人生に3度だけ。生まれた時と死ぬ時と結婚する時。」という言葉。生まれた時と死ぬ時は自分で感謝の気持ちと伝えたいとは思えない。ひとりひとりの顔を見て「ありがとう」と言えるのは結婚式しかない。その式を挙げないなんて、何てもったいないんだろう。そんな大切な瞬間を自分たちでなくしてしまうなんて。私は結婚したいと思、いませんでした。結婚、この広い地球で大切なと思える相手と出会い、相手もそう思ってくれ、2人の意志が一緒になってできること。それは本当に奇跡めたいなこと。私もいつかそう思える人と出会えたら絶対に結婚式を挙げようと思いました。大人としてケジメをつけるためにも。そして式は誰かを想うことでできているということ。自分のパートナーを想う、両親を想う、参加者を想う、プランナーさんの新郎・新婦を想う。いったって、どんなに時代が変化するに人の心を動かすのは人の誰かを想う気持ちなのだと、正直、このテーマで調べ始めた時、こんなに心が温まることになるとは思ってもいませんでした。私も誰かを想える人になりたいと思います。それが人間として一番大切なことだと思うから。

出典: ホテル日航大阪/公式ホームページ

<http://career.garden.jp/webdingplanner/work/>

<http://kinisuru.com/junc-bride-meaning-origin-2172>

<http://www.y2asmr.net/kekko.html>

「ウェディング・プランナーという仕事 - ブライダル業界のおバカめがめる」 堂上昌幸

「よくわかるブライダル業界(業界の最新知識)」 堂上昌幸

「ブライダル業界就職・転職ガイド2016」 オタパブリケーションズ

「ウェディング・プランナーになる!」 桑美奈子

「ブライダル業界の動向とタレントがよ〜くわかる本」 桑美奈子

～Special Thanks～ 南浦勇弥様・こころ様

ホテル日航大阪 セール&マーケティング部 婚嫁販促グループ 澤田尚子様
ホテル日航大阪 管理部 人事総務グループ シニアマネージャー 森田庄司様
ホテル日航大阪 人事部 金元様 月元様 谷様